

養老町 採択の理由書

種目	発行者	理 由
国 語	光 村	書名＜国語＞
		全体として資質・能力の三つの柱について、バランスよくまとめられている。特に冒頭の「学習の見通しをもとう」では、教材ごとに他教科やSDGsとの関わりが示されており、単元と結び付けてまとめている点が工夫されている。 西濃地区の国語科では「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」が求められている。本教科用図書では、言葉を豊かにするための「言の葉ポケット」「語彙ブック」といった言語への興味・関心や自覚を高めるための支援が充実している。
書 写	東 書	書名＜新編 新しい書写＞
		生徒が主体的に学習に取り組むために、「書写のかぎ」により整えて書くためのポイントが位置付けられている。また、生活の場でどのように活用できるかを考えさせることで、自分の文字をよりよくしていこうとする態度を育成するよう工夫されている。 西濃地区の国語科では、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」が求められている。本教科用図書では、学んだことを生活の中で活用するため、具体的な場面を想定した教科横断的な教材が多く設定され、話し合う必然性が生まれ、互いの考えを広げたり深めたりできるよう工夫されている。
社 会（地理的分野）	東 書	書名＜新編 新しい社会 地理＞
		社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、資質・能力の三つの柱をバランスよく育成することを目指し、単元を貫く探究課題を設定し、段階を踏んで課題解決ができるように構成されている。 西濃地区の社会科では、「授業者の意図で資料を提示する指導から、課題解決に向けて生徒が自ら求めて資料やICTを活用する指導」が求められている。本教科用図書では、印象的な写真や比較できる統計資料が多く示されており、生徒の気付きや疑問を基に課題を設定し主体的に課題解決ができるよう、よく配慮されている。
社 会（歴史的分野）	東 書	書名＜新編 新しい社会 歴史＞
		歴史的な見方・考え方を働かせながら、歴史の流れや特色を多面的・多角的に捉えるための工夫がされている。小集団での話し合い活動を位置付けることで対話的な学びを促し、多様な意見を整理し、多面的・多角的な考察によって議論する力を養うための配慮がよくされている。 西濃地区の社会科では、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」が求められている。本教科書用図書では、「個別の学び」の成果を「集団での学び」に生かし、更にその成果を「個別の学び」に還元する学びの具体が示されており、よく工夫されている。

養老町 採択の理由書

社会 (公民的分野)	東書	書名〈新編 新しい社会 公民〉
		「主体的・対話的で深い学びの視点」から学習活動が行えるように、章の始めに導入の活動を設け、節の問いや章全体の探究課題を設定し、節の問いを段階的に解決しながら、章末のページで探究課題を解決していくといった課題解決的に学習活動を進める展開が示されている。 西濃地区の社会科では、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」が求められている。本教科用図書では、生徒の興味関心に応じて学びを広げ深めたり、対話的活動を通して他者と協働的に学んだりするためのコラムやコーナーが豊富に示されている。
地図 図	帝国	書名〈中学校社会科地図〉
		生徒が興味・関心を持って教科学習に取り組めるように、多様かつ豊富な資料を掲載している。生徒が主体的・対話的に学習することができるよう「地図で発見！」のコーナーを設け、様々なレベルの問いを解決する中で思考力を高める工夫がされている。 西濃地区の社会科では、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」が求められている。本教科用図書では、一つ一つの情報を見やすく提示し、なおかつ生徒の興味関心を高めて、課題解決に向けて個別から仲間との学習への流れの中で充実した学びができるように配慮されている。
数学	東書	書名〈新編 新しい数学〉
		ストーリー性のある題材構成で、導入の題材を本文の中で解決することができる。また、吹き出しに「同じように考えると（統合的な考え）」「それなら（発展的な考え）」といった文言をつけ、学びのつながりを生徒が自覚できるようになっている。 西濃地区の数学科では、「生徒の主体的な学びと自己調整しながら粘り強く取り組むことを目指した指導」が求められている。本教科用図書は、複数の図や絵を使って、課題解決の手がかりとなる多様な考えを示し、生徒自身で課題解決ができるように工夫されている。また、教師も生徒の思考の流れを理解して指導ができるようになっている。

養老町 採択の理由書

理 科	東 書	書名＜新編 新しい科学＞
		探究の過程を常に生徒も教師も意識して学習することができるよう、探究の過程をアイコンで視覚化し、生徒が主体的に学ぶための工夫がなされている。 西濃地区の理科では、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実として、一人一人の仮説を大事にした、目的に応じた複数の観察・実験が行われる授業」を行うことが求められている。本教科用図書では、探究の過程で、「構想」したり、「検討改善」したりする場面では考えの異なる生徒の会話例を示すことで、生徒に思考を促すように工夫されている。
音 楽 （ 一 般 ）	教 芸	書名＜中学生の音楽＞
		全題材を通して、資質・能力の三つの柱をバランスよく育成できるような構成がなされている。「何を学ぶか」を明示し、生徒が「音楽を形づくっている要素」を意識しながら、主体的に学習を進めることができる配慮がなされている。 西濃地区の音楽科では、「音楽を形づくっている要素を精選し、ねらいを明確にした授業改善」が求められている。本教科用図書では、各学年の学習内容「学びの地図」を活用することで、題材と題材のつながりを見通すことができるよう工夫されている。
音 楽 （ 器 楽 ）	教 芸	書名＜中学生の器楽＞
		義務教育 9 年間を見通した年間指導計画が確立しており、学習指導要領に示された三つの資質・能力がバランスよく構成されている。また、付けたい力が見開きに納められ、視覚的に理解できるよう工夫がなされている。 西濃地区の音楽科では、「音を介して自分の願いを表現し、音を介した意見交流による学びの充実」が求められている。本教科用図書では、「学びのコンパス」が設定され、生徒が音を介した主体的な学習を展開しやすい工夫がされている。また、I C Tを活用して主体的に学ぶためのデジタルコンテンツが豊富に用意されている。

養老町 採択の理由書

美術	日 文	書名＜美術＞
		全題材を通して、資質・能力の三つの柱に対応した学習目標が具体的に示されるとともに、各学年ともバランスよく題材の配列がされ、系統性が工夫されている。また、題材のまとめとして生活や社会との関連が明確に示されている。 西濃地区の美術科では、「一人一人の関心や能力に応じて、主題や課題を自ら選択すること」が求められている。本教科用図書では、「造形的な視点」や「表現のヒント」が充実しており、主体的に、継続的な学習に取り組める構成となっている。
保健体育	東 書	書名＜新編 新しい保健体育＞
		全単元を通して、導入発問 - 学習課題 - 本文（説明） - 習得内容の活用 - 自己生活の見直しのサイクルで学習を進められる構成になっている。また、二次元コードが位置付けられ、知識の定着の図れるように工夫されている。 西濃地区の保健体育科では、「健康を適切に管理し改善していく思考力・判断力・表現力等の資質・能力を育成すること」が求められている。「調べ学習」「話し合い」「資料からの読み取り」「活用する」の位置付けにより、取得した内容を実生活に生かしていこうとする態度を養うことができるよう、よく配慮されている。
技術・家庭 （技術分野）	東 書	書名＜新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology＞
		全題材を通して、問題発見のきっかけとなるようなテーマを掲げ、問題解決のプロセスに沿って紙面が構成されている。また、動画やデジタルコンテンツが豊富に準備され、ICTを活用して主体的に学べるよう工夫されている。 西濃地区の技術・家庭科（技術分野）では、「見方・考え方に気付いたり、働かせたりする授業」が求められている。本教科用図書では、生徒が「最適化の窓」を活用して「見方・考え方」に着目できるよう工夫されている。全題材を通して、レーダーチャートを用いて評価できるようになっており、よく配慮されている。

養老町 採択の理由書

技術・家庭（家庭分野）	東書	書名＜新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して＞
		生活の中から問題を見出し、課題を設定して解決していく学習過程を設定し、自分の成長を実感でき、さらに生活をよりよくするための実践に取り組めるよう工夫されている。 西濃地区の技術・家庭科（家庭分野）では、「家庭分野の見方・考え方に気付かせたり、働かせたりする授業」が求められている。本教科用図書では、「生活の営みに係る見方・考え方」をわかりやすく例示し、生徒が自らの問題発見につなげる工夫があり、その実現に適したものとなっている。
英語	東書	書名＜NEW HORIZON English Course＞
		学年の発達段階に応じて、資質・能力の三つの柱をバランスよく育成できるように構成がなされている。単元終末の言語活動に向けて、Part や Read and Think を通して、スモールステップで表現を獲得していけるように単元が構成されており、「重ね塗り」の学習スタイルは、英語学習に適している。 西濃地区の英語科では、「聞いたり読んだりしたことについて概要を理解すること」や「理解したことについて話したり書いたりすること」が求められている。本教科用図書では、目的・場面・状況等が明確に設定された言語活動が豊富に用意されており、よく配慮されている。
道徳	東書	書名＜新編 新しい道徳＞
		各学年で学ぶ内容項目に軽重を付けつつ、3年間で系統的に学べる配置になっている。いじめの問題について、各学年 3 教材ずつをユニットにまとめ、「いじめのない世界へ」と記載し、重点として強調している。いじめの問題についてより深く考えられるように、イラスト資料や読み物資料、体験活動の位置付けなどが工夫されている。 西濃地区の道徳科では、「個で考え仲間と議論する授業の充実」が求められている。本教科用図書では、全ての教材に発問が 3 つ設定されており、自我関与を促し生徒が主体的に学べる工夫がなされている。